

受講申込要項

1 受講料

会員区分	参加料	2人目以降参加料金
日本能率協会・ETIC.会員	600,000円／1名 (税抜)	400,000円／1名 (税抜)
会 員 外	650,000円／1名 (税抜)	450,000円／1名 (税抜)

＜受講料に含まれるもの＞

- テキスト・資料費。
- 合宿を伴う場合は、合宿費。(ただし、現地までの交通費は含まれません。)

2 申込方法

下記ホームページよりお申し込みください。

<http://www.jma.or.jp/kaikalab/>E-mail : kaikalab@jma.or.jp

- ①お電話での予約も承ります。決定しだいホームページからお申し込みください。
- ②申込を受理したのち、随時、請求書等をお送りいたします。
- ③定員に達した場合、または開催内容が大幅に変更する場合は別途ご連絡いたします。
- ④詳細はホームページ内、各コースの案内をご覧ください。

3 各種送付物・受講料のお支払いについて

- 請求書は原則として、「申込責任者」宛に、開催日の約1か月前に送付いたします。事前資料がある場合は、随時お送りいたします。
- 受講料は、請求書記載の支払期限までに指定口座までお振込みください。
- 振込手数料は貴社にてご負担くださいますようお願いいたします。お支払い方法等につきご希望がございましたら、お問い合わせください。

4 受講申込後の取り消し(キャンセル規定)

お申込み後、受講者の都合にてキャンセルされる場合、下記のとおりキャンセル料を申し受けますのでご了承ください。
 なお、キャンセルのお申し入れは、必ずFAX (03-3434-6330) またはメール (kaikalab@jma.or.jp) にてご連絡ください。

開催30日前～8日前(開催日含まず起算)	受講料の10%
開催7日前～前日(開催日含まず起算)	受講料の50%
開催日当日	受講料の全額

※会員とは、一般社団法人日本能率協会の法人会員ならびに特定非営利活動法人エティック(ETIC.)の会員を指します。
 ※本事業開催時の消費税率を適用させていただきます。

＜受講料に含まれないもの＞

- 必読書や研究参考図書等の購入費。
- 研修会場までの交通費。
- 研修プログラム外のチーム活動にかかる費用。
- 海外研修を実施する場合は、パスポート・ビザ申請費用。

5 催行中止・免責事項

コースの申込が12名に満たない場合、催行を中止させていただくことがあります。また、天災地変、研修会場・運送・宿泊等の機関のサービス停止、官公庁の命令、当初の予定によらないサービスの提供その他小会の管理できない事由により研修内容の一部変更または中止のために生じた損害については、小会は責任を負いません。

6 個人情報の取扱いについて

一般社団法人日本能率協会では、個人情報の保護に努めております。詳細は、小会ホームページにての個人情報等保護方針をご覧ください。
 (<http://www.jma.or.jp/privacy/>)。なお当コースの予約票および申込書にご記入いただきましたお客様の個人情報は、本催し物に関する確認・連絡・実施および小会主催の関連催し物のご案内送付等に使用させていただきます。

7 公開研修における機密保持について

公開研修では、事前課題やグループディスカッション等において、自社の状況を書いたり話したりする場合がございます。この場合、受講者の判断により、一般に開示できる範囲でご対応のほどお願いいたします。

8 注意事項

- 教育研修団体、経営コンサルタント、教育インストラクターの方のお申込みは、お断りする場合がございます。
- テキストは会場でお渡しします。受講者以外の方にはテキストはお分けいたしません。
- 録音、録画、撮影はご遠慮ください。

企画協力団体



主な事業

- 起業家支援
- 社会インパクト創出
- 地方創生事業
- 企業内リーダー人材育成ほか

団体名称：特定非営利活動法人エティック (ETIC.)
 Entrepreneurial Training for Innovative Communities.

代表理事：宮城治男

所 在 地：東京都渋谷区

設 立：1993年 法人化：2000年3月

1993年、学生起業家の全国ネットワーク組織として活動開始。一貫して自ら社会に働きかけ、価値を生み出していく起業家型リーダーの育成に取り組む。97年よりITスタートアップやソーシャルビジネスの「起業家の右腕インターンシップ」を事業化。18年で2800人の学生が参加、154名の起業家を輩出。2001年には社会起業家育成・支援をスタートし、日本初の社会起業のビジネスプランコンテスト「STYLE」や「社会起業塾イニシアティブ」(2002年～、NEC、花王、NTTドコモ、電通等が協賛)ほか、内閣府、東京都の委託による様々なプログラムを手がけ、400名以上の起業家を育成・支援。その活動は全国に広がっており、若者の挑戦機会を創り出すエコシステム作りを支援する「チャレンジコミュニティ創成プロジェクト」(2004年～、経済産業省委託)や、地方創生の先進11自治体が連携した「ローカルベンチャー推進協議会」(2016年～)の事務局を務める。また、こうした事業を通して培われたネットワークや知見を活かし、企業と連携した社会価値創造志向の人材育成やオープン・イノベーション推進にも取り組んでいる。

プログラム内容のお問合せ先

 経営革新を推進する
 一般社団法人日本能率協会 KAIKA研究所

〒105-8522 東京都港区芝公園3-1-22

TEL 03(3434)0380

E-mail : kaikalab@jma.or.jp

お申し込みはこちら

<http://www.jma.or.jp/kaikalab/>

KAIKAイノベーション

検索

～これからのSDGs時代に向けて～

社会課題の解決を題材にした次世代イノベーター育成プログラム

KAIKAイノベーションラボ



JMAでは、企業が新たな価値を生み出し、持続的成長を実現するための経営の考え方として「KAIKA (開花・開化)」を提唱しています。個人の成長、組織の活性化、組織の社会性を同時実現することにより、個人と組織の能力が「KAIKA」し、価値が生み出されるという考えです。本プログラムは、社会を起点として考え、組織の壁を超えて協働することを通じて、個人と組織の「KAIKA」を支援します。

これからのSDGs時代に求められる 社会課題を起点とした事業創造とは

社会変革のトップランナーとの対話を通して学ぶ

SDGsやCSVへの関心が高まる中、
企業自身の社会課題への向き合い方が問われています。
企業に求められるこれからのリーダーシップと事業創造について学びます。



目指すゴール

GOAL

自己を知り経営とつなげ
社会へのインパクトを起こす
社内起業家を増やす

自己と経営と社会の
統合



企業や組織で新たな価値を創造する次世代イノベーター
となるために必要な知識・素養を身につける

知 識

素養(スキル・姿勢)

- 社会課題を起点とした事業創造
- SDGsを通して見る日本と世界の今後



= 企業を通した
社会変革

プログラムの特徴

- 1 日本の社会課題領域の専門家や、社会課題から新規事業を起こしてきた実践者から対話を通して学ぶことができる。
- 2 多数の起業家が生まれている岡山県西粟倉村に訪問し、地域の課題や現地のリーダーシップについて学ぶことができる。
- 3 個と集団の深い変容を起こす「U理論」を学び、新しい視点と考え方を得る。

対象層

TARGET

- ◆企業や組織の次世代リーダー候補(主に30代を想定)
- ◆商品開発、マーケティング、研究・開発部門等の将来のリーダー候補の方々
- ◆経営企画部門や事業企画部門で新規事業開発を担当している方々
- ◆このテーマに関心を持ち、自らアクションを進めていくことができる方

プログラム概要(予定)

PROGRAM

会期(開催月) 2019年6月~12月

プログラム(全5単位・9日間)

単位	開催日・開催場所	テーマ	ねらい
1	キックオフ 2日間 6月21日(金)・ 22日(土) 【東京】	◆日本の社会課題 ◆SDGs時代の企業に求められる 視座・戦略の転換 ◆U理論に学ぶリーダーシップ	●日本の社会課題の全体像を学ぶ。 ●CSV先進企業の取り組み例を知り、自社のありかたの視野を広げる。 ●これまでの思考の枠組みを外す。 ●2泊3日のフィールドワーク先の事前学習。
2	現地 フィールドワーク 2泊3日 7月25日(木) ~27日(土) 【岡山】	◆日本の社会課題解決の現場に学ぶ 	●多数の起業家が生まれている岡山県西粟倉村に訪問し、地域の抱える課題や、課題解決に求められるリーダーシップについて学ぶ。 
3	レクチャーと対話 2日間 8月23日(金)・ 24日(土) 【東京】	◆社会課題が取り巻く環境の中での、 企業に求められる役割、 新規事業創造の視点 ◆コレクティブインパクト・ 他セクターとのパートナーシップ	●キックオフで学んだ日本の社会課題の全体像を踏まえながら、社会課題解決における企業への期待や役割について実践者から学ぶ。 ●社会課題解決を起点とした新規事業創造についての視点や思いについて学ぶ。 ●課題解決における他セクターとのパートナーシップやコレクティブインパクトの可能性について学ぶ。
4	学びの統合 1日間 9月28日(土) 【東京】	◆社会課題解決と経営・事業、 そして自身のリーダーシップの統合	●社会・組織・自身を整理統合し、 自らのありたい姿・実現したいことを考える
5	フォローアップ 半日 12月頃 【東京】	◆フォローアップ	●研修後の変化や実践における振り返りと対話を通して、 持続可能なアクションを考える

※会期・プログラム内容等は変更になる場合があります。最新の情報はホームページでご確認ください。

主な講師陣

(敬称略・役職当時)

LECTURER



IIHOE [人と組織と
地球のための国際研究所]
代表
川北 秀人 氏

京都大学卒業後、(株)リクルートに入社。94年にIIHOE設立。社会的責任志向の企業やNPO、自治体における社会責任への取り組み推進の支援に取り組む。環境社会報告書・CSRレポートへの第三者意見執筆は計28社153回を数える。



オーセンティックワークス
株式会社
リーダーシッププロデューサー
古江 強 氏

Co-Creationファシリテーター。個と集団の深い変容を起こす「U理論」に基づくコーチングとファシリテーションを通じて、自分らしいリーダーシップの解放とCo-Creation(共創)の実現を支援している。



株式会社エーゼロ
代表取締役
牧 大介 氏

京都大学大学院卒業後、民間のシンクタンク等で林業・山村に関わる新規事業を手掛けてきた。2009年に岡山県西粟倉村にて(株)西粟倉・森の学校、2015年にエーゼロ(株)を設立。村役場と共に独自の移住起業支援も行っている。



デロイト トーマツ
コンサルティング
執行役員
藤井 剛 氏

社会課題解決と競争戦略を融合した経営モデルや、企業とNPO/NGO、政府/国際機関等とのトライセクター連携によるイノベーション戦略を提唱。「SDGsが問いかける経営の未来」他著書多数。



株式会社坂ノ途中
代表取締役
小野 邦彦 氏

京都大学卒業後、外資系金融機関を経て(株)坂ノ途中を設立。「100年先もつづく、農業を」というメッセージを掲げ、農業や化学肥料不使用の農産物の販売、少量不安定な生産でも適正な価格で販売できる仕組みの構築をしている。



NPO法人ADDS
共同代表
竹内 弓乃 氏

慶應義塾大学大学院、横浜国立大学大学院修士課程修了。臨床心理士。学生セラピストの活動を経て、2009年ADDS設立。「日本中の発達障害がある子とその家族へ、早期に適切な支援が届く社会」の実現を目指し、効果の高い療育支援プログラムの開発提供と支援者向け研修、ツール開発などを行う。



NPO法人ETIC.
マネージャー
番野 智行 氏

東京大学卒業後、NPO法人ETIC.にて社会起業家育成プログラムの立ち上げに取り組む。その後コンサルティング会社にて取締役として転職し、企業や政府、教育機関等へのコンサル